

9月議会報告

9月議会2019年度決算審査から井之川議員の報告のつづき3

高齢者の移動手段は喫緊の課題

高齢化社会の進展で、高齢者の交通事故などが多発し、免許証を返納する人が急増しています。

しかし、本市などの中山間地では、マイカーを手放すと、買い物や病院に行くのに大変な不便が生じます。市が支援している「乗合路線バス」が、走っていますが、利用しやすい地域は限られています。



現在の乗合路線バス

もちろんタクシーは、ドアツードアで利用できますが、料金が高いという問題があります。その辺を解決する「乗り合いタクシー」などをはじめ、その地域にあった「方法」が各地で取り組まれています。

本市も、計画はあるようですが、高齢者などの移動手段は、喫緊の課題であり、早急に必要な実施することが必要です。



井之川博幸市議

国保の資産割廃止、応益割引下げは歓迎

組合健保並みの保険料水準まで引き下げを

国民健康保険税の課税の対象となっていた資産割は、固定資産税と重複していたものであり、今回の廃止は長年の被保険者の要求であり、当然のことですが、改革を決断したことは歓迎されます。また、低所得者に重い応益割の引き下げも歓迎されます。しかし、このことによる減収分は所得割に反映し、全体に高い国保税には変わりはありません。

国保税は、一般会計からの支援を含めて、組合健保並みの水準に引き下げるべきであり、国保の財政を管轄する群馬県や国に要求すべきです。(右中段につづく)



新教育委員などの活躍を期待します

沼田市議会最終日には、利根町の中村春夫さんを新教育委員に、高橋場町の斉藤隆さんを公平委員に再任、鍛冶町の中嶋歩積さん、上久屋町の吉野敏弘さん、材木町の北原君子さんを人権擁護委員に再任することを、それぞれ同意しました。



公共料金に転嫁されている消費税は撤回を!

沼田市の公共料金—上下水道料や施設使用料などには消費税がかけられています。昨年10月に10%へ増税されれば、10%へ引き上げました。消費税は、低所得者ほど負担が重くなる逆進性の悪税です。また、生活費にかけられているため回避できません。とくに、生きるために絶対必要な「水」にまでかけることは、絶対に許すことはできません。公共料金にかけられている消費税は、直ちに撤回すべきです。

前期高齢者の窓口負担2倍化は元に戻せ!

✓(左下からのつづく) また、70歳から74歳までの前期高齢者の窓口負担の引き上げは、元に戻すべきです。

高齢者への差別・サービス引き下げ・負担増を撤回せよ

高齢者を差別している後期高齢者制度は撤廃し、後期高齢者の負担を引き下げるべきです。

介護保険については、要支援の保険外しがすすめられてきました。また、保険料をはじめ、高齢者の負担増は、撤回すべきです。



*連載している「沼田市政改革大綱について」は、都合によりお休みさせていただきます。

2020年10月10日 No.990

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料